

豊かなコミュニケーション能力を身につけた子どもの育成

新見市思誠小学校 教諭 西村 欣也
報告記録 富谷 忠明

研究主題の説明と実践事例についての報告行われた。実践報告は、紀要に基づきながら英語活動について、次のような説明が行われた。

1 英語活動の指導体制・・・H R T・A L T
・A Tの3人で行っている。

2 活動として取り上げているテーマ
低学年「子どもの身のまわりのこと」
中学年「学校・友達や家族のこと」
高学年「友達や社会との関わり」

「Shisei Game-like Activities Card」を作成し、活動の蓄積・指導の工夫を行っている。

3 1時間の活動内容

warm up・・・あいさつ、歌やゲームなどで心をほぐす。

exercise・・・スッキトやチャンツなどを通して、英語に慣れ親しみ、インプットを図る。

game-like activity・・・コミュニケーション活動、総合との関連も考えながら活動。

特に、「聞きたい」「伝えたい」という思いを大切に、インプットからアウトプットへの活動ができるように工夫している。

wrap up・・・感想や振り返りを行う。

4 評価について

(1) 児童による自己評価

・振り返りカードの利用

・can-do-checkカード(単元の終わりに)の利用

自己評価を行うことにより、自己評価力を高めるとともに、友達を認める意識・態度を育てることを大切にしている。

(2) 教師による評価

・各学年の年間指導計画に基づき、3観点で評価している。

5 成果と課題

成果

・英語活動を楽しんでいる。

・人との関わりを大切にしようとする意識や態度が育ってきた。

課題

・個人差に応じた指導・支援をいかにするか。

・児童の実態や英語ノートに関連した計画の作成

・小中連携に向けての取り組み

以上の説明があり、報告を終えた。

